

《各学部におけるキャリア教育の取り組みを紹介します》

キャリア教育の目標として、希望する生活や進路を自己決定・自己選択できる力の育成があります。

会津支援学校ではキャリア発達課題として、キャリアプランニング能力（決める力・選ぶ力）を重視しています。以下のように、小学部から経験を積み重ねながら少しずつ向上させていきます。

今回はキャリアプランニング能力の一部の（決める力・選ぶ力）を取り上げます。

- 小学部 自分の好きなことややりたいことを選ぶ。
- 中学部 自分の得意不得意を知り、やりたいことを決める。
- 高等部 自分の得意不得意を知り、自己の特性に合った進路先を選択する。
(会津支援学校キャリア教育計画キャリア発達課題より)

「キャリア発達の視点で児童生徒の能力を育てる」という意識で、同じ能力を段階的に積み重ねます。

<小学部校外学習>

小学部6年生は修学旅行における事前学習の一つとして校外学習に行きました。決められた予算の中で、どのようにお金を使うか考えました。お土産を買うのか、自分の欲しい物を買うのか、真剣に考える姿が見られました。教師と相談しながら様々なお店を見て回り考えたものの、今回の買い物では買う物を決められなかった児童もいました。自分で選択して決めるということは簡単ではありません。小学部段階から様々な「選ぶ・決める」経験を重ねていくことが、やがて進路先の選択にもつながっていくと考えられます。決められなかったという経験も自分でよく考える大変貴重な体験となったと思われます。

「学びの変革」実現ビジョンの中に、「全ての子どもは学びたがっているし、学ぶ力を持っている」という一文があります。安易に教師が決めてしまうのではなく、子どもたちが悩み考えていく中で学んでいくものと思っております。



<中学部>

中学部では3年生を対象に就業・生活体験学習を行っています。企業や事業所での体験を通して、将来についての具体的なイメージをもち、望ましい進路選択につなげることが目的です。障がい福祉サービス事業所「コパン」様では、普段と違う環境の中でも、安定した気持ちで様々な職員の方や利用者の方たちと触れ合ってくることができました。また、就労継続支援A型事業所「カフェ&デリ MARC」様で体験をした生徒は、「おかずを入れたりポイントカードを作ったりする仕事が楽しかったです。皿洗いや接客は難しかったので、家でも手伝いをするようにしたいです。」と感想を話してくれました。自分の好きな仕事だけができるわけではないことを知り、自分の得意なことや課題を発見した生徒たちです。



<高等部>

1年生の「職業」の授業で「キャリアパスポート」を作成しています。「キャリアパスポート」は、生徒自身が、学習や学校生活の目標を設定したり、学習したことを振り返ったりしながら、生徒自身が自分の変容や成長を自己評価し、自分の将来の生き方や働き方について組み立てていくものです。高等部に入学して半年が過ぎ、改めて自分自身について考えた時に、4月の時よりも自分の長所や短所、短所の改善点について具体的に記入することができました。記入に戸惑った際には、友達や、担任の意見等も取り入れながら書き進めることができました。また、1学期に様々な職種について学習したり、先輩の実習報告を聞いたりしたことで、将来やってみたい仕事も明確になってきました。

